

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年2月2日(2022.2.2)

【公開番号】特開2022-17468(P2022-17468A)

【公開日】令和4年1月25日(2022.1.25)

【年通号数】公開公報(特許)2022-013

【出願番号】特願2021-179751(P2021-179751)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

10

【F I】

G 02 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】令和4年1月25日(2022.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

長尺位相差フィルムと長尺偏光フィルムとが積層されている長尺円偏光板であって、

該長尺位相差フィルムのヘイズ値は0.4%以下であり、

該長尺位相差フィルムは、下記式(1)、(2)及び(3)；

$R_e(450)/R_e(550) = 1.00 \quad (1)$

$1.00 \leq R_e(650)/R_e(550) \leq 1.00 \quad (2)$

$100 \text{ nm} < R_e(550) < 160 \text{ nm} \quad (3)$

[式中、 $R_e(\lambda)$ は波長 λ nmの光に対する面内位相差値を表す]

を満たす波長分散特性を有する、長尺円偏光板。

30

【請求項2】

ヘイズ値が0.4%以下であり、かつ、下記式(1)、(2)及び(3)；

$R_e(450)/R_e(550) = 1.00 \quad (1)$

$1.00 \leq R_e(650)/R_e(550) \leq 1.00 \quad (2)$

$100 \text{ nm} < R_e(550) < 160 \text{ nm} \quad (3)$

[式中、 $R_e(\lambda)$ は波長 λ nmの光に対する面内位相差値を表す]

を満たす波長分散特性を有する長尺位相差フィルムと長尺偏光フィルムとが積層されている、長尺円偏光板の製造方法。

40

50